



令和6年度 川上村立中学校グランドデザイン



源流教育の理念

源 物事の原点・出発点 郷土と共に自己を磨く人づくり

流 源流から成長やがて社会へ 未来に向けて夢を叶える人づくり

＜教育＞ 子どもの学びを支える
川上村の「人」「もの」「こと」

＜校長の願い＞

- ①安全で安心できる、信頼される学校
- ②共に学び伸びることを喜び合える、明日も来なくなる学校。
- ③地域と連携し、郷土から学び、郷土を愛する生徒を育む学校

学校教育目標

感受性豊かに 思慮深く 実践する生徒に

＜地域や保護者の願い＞

- ①川上村の環境を活かした学校づくり
- ②いじめや差別のない楽しく充実した学校生活
- ③確かな学力の向上
- ④川上村を愛し、川上村に住み続ける子どもたち

めざす生徒像

**開かれた学級集団で自己表現し、
生き生きと学習や部活動に励む生徒**

重点目標(Plan)

- 1 学力向上 ～ 「学ぶ楽しさ」を実感する学習
- 2 人権感覚の育成 ～ 「自分と他者」を大切にすること
- 3 健康教育 ～ 心身ともに健康な体づくり・体力向上

重点活動(Do)

学力向上

①授業改善

- ・「わかった」「できた」という学ぶ楽しさを実感する学習。
- ・主体的に学び合い、自らの考えを進んで表現する生徒。
- ・友とかかわりあいながら伝え合う力が高まるような指導。
- ・コース別学習、T・Tにより、個への対応を強化。

②家庭学習・学力アップ

- ・自ら学習計画を立て、自学を習慣化する生活記録。
- ・自習ソフトを活用した個別学習と学習経過の蓄積。
- ・基礎学力を高める学力アップの時間や授業開始時のドリル学習。

③ICTの活用

- ・ICTを活用した協働的な学びの推進と思考力の育成。
- ・オンライン配信を活用し、学習環境を確保する。

④読書活動の充実

- ・読書の質を向上し、量を確保することで読解力をアップ。

人権感覚の育成

①人権学習の充実

- ・いじめを許さず、自分と他者を大切にすることを育成。
- ・春と秋の人権教育強調月間の取組における人権教育授業と人権講演会の実施。

②生徒会活動との連携

- ・歌声やあいさつに重点を置いた生徒主体の取組。

③地域との連携

- ・村保健福祉課主催の認知症体験、VR体験。
- ・村の技能実習生との交流会。

④生徒指導との連携

- ・「学年担任制」によるチーム対応で常に複数の職員が関わる。
- ・どの先生にでも相談できる学校。生活記録の活用。

⑤特別支援教育の充実

- ・すべての生徒がそれぞれの個性を伸ばし、安心して生活できる環境づくり。
- ・信州型UDを大切に、個に応じた学びの支援。

教育活動全体を通じた健康教育

①保健教育

- ・外部講師を活用した薬物乱用防止教育、性に関する指導、SOSの出し方教育等の充実。
- ・専門トレーナーによる運動指導。
- ・小学校や家庭と連携した規則正しい生活習慣づくり。
- ・SNSと心の健康への取り組み。

②食育

- ・各教科の目標に食の視点を加えた教科等横断的な食育の実践。
- ・おべんとうデーを軸とした、食の自立を目指した生きる力の育成。

③安全教育

- ・命を守る実践力の育成につながる教科等横断的な安全教育の推進。
- ・外部機関と連携した交通安全教室、防災訓練、防犯訓練の実施。
- ・災害時を想定した保小合同の引き渡し訓練の実施。

④部活動

- ・学校を超えたつながりの中で心身の鍛錬と豊かな人間関係を育成。
- ・地域の指導者による技術指導

職員が目指す姿

川上ブランド(川上三校職員共通目標)小中一貫教育に向けた職員の職能向上への取組
I 教科指導力の向上 II 生徒指導力の向上 III 子どもに力をつける教育活動企画の向上

改善(Action)

- ◇校務分掌での具体案の検討
- ◇教科会による改善・施行
- ◇学年会による改善・施行
- ◇三委員会での改善・施行

評価(Check)

- ◆人間関係力の向上への取組の検証方法.....各種アンケート等
- ◆授業改善や学力向上を評価する検証方法.....全国学テ、NRT等
- ◆教育活動企画力向上を評価する検証方法.....外部の方の評価